



〔城山中学校ホームページ（<http://www.ueis.ed.jp/school/shiroyama-j/>）では、カラーでご覧いただけます。〕

暑い夏 生徒の活躍はもっと熱い！

◆野球 地区総体準優勝 県総体ベスト16（Aさん）

- ・県大会ベスト4を目指していたので悔しいですが、地区準優勝は素直に嬉しいです。顧問の先生や外部コーチの質の高い指導と部員一人一人の高いポテンシャルと団結力が要因だと思います。
- ・野球部の活動を通して、我慢強さや視野の広さが養われたと思います。これらを勉強や高校野球でも活かしていきたいです。



◆卓球 県総体男子ダブルス ベスト8（Tさん・Tさん）

- ・今まで頑張ってきた成果を、県ベスト8の成績で表せて良かったです。部の仲間や顧問の先生、アドバイザー、そして保護者など皆さんの支えがこの成績の要因だと思います。部長としての経験を活かし、これからも様々な場面で周りの人をサポートしていきたいと思います。
- ・部の仲間のプレーを真似したり、自分のプレーの映像から研究したりしたことが好成績の要因だと思います。「練習は本番のように。本番は練習のように。」の言葉をもとに、今後も一生懸命頑張っていきます。



◆バドミントン 県総体団体準優勝、個人準優勝、関東大会出場（Yさん）



- ・クラブチーム所属で参加し、初めての団体戦で関東大会1勝できたことが嬉しかったです。仲間との団結力はどのチームにも負けていないと感じました。
- ・バドミントン競技を通して、スポーツ選手としての礼儀や感謝の気持ちをもって生活することが身に付き、学校生活の役に立っています。

◆弓道 男体山登拝講社大祭奉納 扇の的大会 団体優勝（Rさん・Tさん・Mさん）



- ・初めて参加した大会で、優勝できたことを誇りに思います。お互いの信頼関係があったので力を発揮することができました。
- ・弓道部で培った、勉強における集中力や忍耐力、生活面での諦めない心や助け合いの心をこれからも活かしていきたいです。

◆ダンス世界大会「The Showstopper FINAL」 HIP HOP 部門 優勝

(Rさん・Rさん)

・演技中の歓声とその後に現地の人から褒めてもらったことがとても印象的で、日本とは違う貴重な経験でした。また、海外の人たちのノリや盛り上げ方、バイブス（場の空気感）に刺激を受けました。

・海外の選手一人一人のダンススキルや個性が日本とは違って、自分でもそれらを取り入れて上手になりたいと思いました。また、大会に参加することで、自分の夢に対する見方が変わりました。



◆スポーツライミング国際大会「MAXASIA TAIWAN」第2位

(Kさん)

・台湾の選手との決勝で、言葉が通じなくてもジェスチャーを交えて、登り方を一緒に考え、楽しみながら大会に参加できたことが良かったです。

・初対面の人と話すことが苦手でしたが、大会中に会話をしたり、互いに褒め合ったりできたので、少し自信ができました。



生徒会役員も「まちづくり」で熱い！

夏休み中の8月8日(火)に開催された「城山地区まちづくり懇談会」へ生徒会役員5人が参加しました。この懇談会は、「宇都宮に住んでよかった」と実感できるまちにするために、城山地区について市長と地域住民が意見交換を行うものです。(市と城山地区コミュニティ協議会との共催事業)

中学生は、自由討論の中で、次の2点を提案しました。

1 城山地区の道路事情～ジャパンカップ開催地のイメージ向上を目指して～

主な内容：「城山地区も、中学生の自転車通学路だけでなく、サイクルロードの観光客の方も安心して来られるように、自転車専用レーンや、自転車専用道路を作ってほしい。」

2 空き地・空き家をなくして地域を活性化し、安全なまちにするためには

主な内容：「防犯のため、街灯の少ない道や住宅地の明かりを増やす対策や、空地、空家をなくして、有効活用できる対策をぜひ進めてほしい。」



【参加した生徒会役員】

＜参加生徒の感想＞

- ・城山地区が良くなるように、大勢の前で意見を言えたことが楽しかった。
- ・自分自身でも何とかしてほしいと思っていたことを討論できたので良かった。
- ・これからの城山地区の課題と方策を考えるきっかけとなり、有意義だった。
- ・地域の方々の意見を聞くことができ、勉強になった。
- ・パワーポイントで簡潔に分かりやすく説明することができて良かった。

